

暮



小島敬太郎理事長、学校医として34年目を迎えた最後の内科検診(宜山小学校にて)

理 念

地域に望まれる理想の医療を目指して

基本方針

1. 私たちは患者さんの立場にたち、安心して満足できる医療を提供します。
1. 私たちは患者さんに心から信頼される医療人を育成します。
1. 私たちは地域に密着した病院としての機能向上を図ります。

小粒でも大きな支え、続く安心



医療法人
(社)玄同会

小島病院



小島病院 診療部長 内科 原 睦展



便秘と新しいお薬



便秘とは

便秘はよくある病気です。便秘の捉え方は人さまざまで、毎日出ないと気の済まない人もいれば、2、3日は出なくても平気な人もいます。

便秘とは、2017年に日本消化器病学会の関連研究会である「慢性便秘の診断・治療研究会」が出版した『慢性便秘症診療ガイドライン』によれば、「本来体外に排出すべき糞便を十分量かつ快適に排出できない状態」としています。つまり、便秘は疾患名でも症状名でもなく、状態名であると規定しているのです。その状態とは、「排便回数や排便量が少ないために糞便が大腸内に滞った状態」、あるいは「直腸内にある糞便を快適に排出できない状態」です。すなわち、自分の排便に満足していない状態が便秘です。

今回のガイドラインでは、まず、便秘の原因として、「器質性」と「機能的」に分類されました。「器質性」は「狭窄性」と「非狭窄性」に分けられます。そして、「非狭窄性」と「機能的」は、それぞれ「排便回数減少型」と「排便困難型」に分けられるという構造です。この「排便回数減少」と「排便困難」というのが、「症状」になります。「排便回数減少」のめやすは「週3回未満の排便」、^{*}「排便困難」とは「直腸内の糞便の排出が十分でなく残便感がある」状態です。さらに、「病態」として、「大腸通過正常型」「大腸通過遅延型」「便排出障害」に分けられます。「大腸通過正常型」は、排便回数や排便量が少なく、主な原因は食物繊維摂取不足です。そのため、適正に食物繊維をとること（目標は1日に18～20g）で改善することが多く、生活指導が重要になります。「大腸

通過遅延型」「便排出障害」では、食物繊維の摂取量を増やしても改善しないことが多いため、適切な下剤等の投与が必要になります。気をつけないといけないのは、大腸がんなどの「狭窄性」便秘を除外することです。大腸内視鏡検査などで「狭窄性」便秘を否定できれば、経口便秘薬を使用します。

便秘の治療（経口便秘薬）

ここ数年、慢性便秘症を対象にした機序の異なる新薬が相次いで発売されました。従来は、酸化マグネシウムなどの塩類下剤とピコスルファート、センナなどの刺激性下剤、漢方薬が主流でした。しかしながら、従来の便秘薬には副作用がありました。酸化マグネシウム製剤は腎機能が悪い人や高齢者では高マグネシウム血症が起こることがあります。また、酸化マグネシウムが効力を示すためには胃酸が必要であり、胃酸を抑制する薬を服用している人は効果が減弱します。また、刺激性下剤は長期使用によって効果が減弱することがありました。そこで、副作用の少ない薬が開発されました。上皮機能変容薬のルビプロストン（商品名アミティーザ）、リナクロチド（商品名リンゼス）、胆汁酸トランスポーター阻害薬のエロビキシバット（商品名グーフイス）、欧米では第一選択で使用され、小児にも使用できる腸内浸透圧亢進薬のポリエチレングリコール（商品名モビコール）などが立て続けに登場しました。これらの薬をどう使っていかかは、患者さん個々の効き方や副作用に差がありますから、病態に合わせて服用することで満足のいく便秘治療を目指すことが出来ます。

*狭窄・・・狭くすぼまっていること

新型コロナウイルス感染症

対策



オンライン
面会の様子



オンライン面会

1

オンライン面会が大変好評です！

月・水・金 14:00~15:00

で実施しておりますので、ぜひご利用ください。

問い合わせ/小島病院 医事課 TEL.084-976-1351

2

出入り口での検温に ご協力ください

引き続き、マスクの着用と消毒、検温にご協力をお願いいたします。

正面玄関出入り口
での検温



3

法人研究発表会



新型コロナウイルス感染症対策の一環で、今年度の法人研究発表会は録画した動画を視聴する方法としました。その他、職員全員初めての経験が多く、日々工夫しながら院内感染対策に取り組んでいます。



院内における新型コロナウイルス 感染症対策チェックリスト

- 職員に対して、サージカルマスクの着用、手指衛生を適切に実施しています。
- 職員に対して、毎日(朝、夕)の検温等の健康管理を適切に実施しています。
- 職員が身体の不調を訴えた場合に適切な対応を講じています。
- 患者、取引業者等に対して、マスクの着用、手指衛生の適切な実施を指導しています。
- 発熱患者への対応として、事前に電話での受診相談を行う、または対応できる医療機関へ紹介する等の対策を講じています。また、発熱患者を診察する場合には、時間的または空間的に動線を分けるなどの対策を講じています。
- 受付における感染予防策(遮蔽物の設置等)を講じています。
- 患者間が一定の距離が保てるよう必要な措置を講じています。
- 共用部分、共有物等の消毒、換気等を適時、適切に実施しています。
- マスク等を廃棄する際の適切な方法を講じています。

4

基本的な
感染対策の
取り組み

No. 0004939

感染症対策実施 医療機関

みんなで
安心

当院は新型コロナウイルス感染症対策
チェックリストに沿った
対策を実施しております。

日本医師会
Japan Medical Association

※協力: 厚生労働省

医療法人社団玄同会小島病院



日本医師会
Japan Medical Association

協力: 厚生労働省

●CPRチームの紹介

CardioPulmonaryResuscitation CPR TEAM

CPRとは心肺蘇生法のことを指し、呼吸が止まり、心臓も動いていないと見られる人の救命へのチャンスを維持するために行う循環の補助方法です。

当院では院内での救急事例に全職員が迅速かつ適切に対応できるよう2019年4月からCPRチームを発足し活動を行っています。

チームメンバーは院長である小島廉平医師・看護師・診療放射線技師・薬剤師・理学療法士・管理栄養士からなる11名で構成されています。

全職員が適切な胸骨圧迫やAEDを使ったBLS(一次救命処置)ができるよう月に1回実技研修を行っています。講師はチームメンバーが院外研修に参加し技術習得したのちに務めています。

現在はACLS(高度な医療機器や薬剤を使った二次救命処置)の院内研修に向けて動画撮影や実技訓練を行っています。

チーム会議では今後活かせるよう院長指導のもと院内コードブルー事例の振り返りなどを行っています。

急変時はチームワークがとても重要です。院内チームワークが強化できるようにこれからも努力していきます。



BLS訓練の様子

意識がない人を見つけたら

①人と物を集める ②呼吸の確認

112へ電話 5秒以上10秒以内で



頭部後屈、顎先挙上

③胸骨圧迫を開始 ④AEDを装着



30(胸骨圧迫)対2(換気)
1分間に100~120回
圧迫は5cm以上6cm未満

ガイダンスに従う!!

絶え間なく胸骨圧迫を続ける

院内各所に掲示

●認知症ケアチームの紹介

DEMENTIA CARE TEAM

病院職員が認知症を理解し、入院中に認知機能やADL(日常生活動作)を低下させることなく、できるだけ速やかに、住み慣れた元の生活に戻れることを目的として、2016年に認知症ケアチームが発足しました。

チームメンバーは、医師、看護師、社会福祉士、薬剤師、栄養士、理学療法士と多職種で構成されています。

本年度からは当院脳神経内科医である理事長がメンバーに加わり、パワーアップして活動しています。

活動内容は、月1回の頻度でチーム活動を開催し、症例検討などを行っています。また、適切な薬剤使用の検討や勉強会なども行っています。

今後は、認知症を受け入れる患者さん・ご家族への支援を目的として、パンフレットの作成などを行っていききたいと思います。



研修医の紹介

当院(小島病院)は日本泌尿器科学会専門医教育施設認定病院となっており、中国中央病院から研修医の受け入れを行っています。9月は深尾小百合医師が当院で研修を受けました。

大口副院長(左)、深尾医師(中)、宮本泌尿器科副部長(右)⇒



研修を終えて

中国中央病院 研修医 深尾 小百合

1か月、泌尿器科の研修でお世話になりました、中国中央病院の深尾です。

泌尿器科は当院(中国中央病院)にはなく、尿管結石の初期対応はするものの、そのあとの治療は貴院(小島病院)などに紹介する状況で、詳しい治療方法に触れる機会がありませんでした。そんな中で、泌尿器に強いこの病院で研修生活が送れたことは非常に実りのあるものでした。例えば尿路結石にも治療方法はさまざまあり、衝撃波を当てても石がなかなか壊れないことや、石を取っても今度はもっと大きな石ができたりと一筋縄ではいかない症例を診ることができました。

担当していただいた大口先生、宮本先生、非常勤の後藤先生をはじめ小島病院の皆さまには、本当にお世話になりました。外来、回診、手術、どれもとても楽しく研修させていただきました。

1か月という短い間でしたがたくさんのことが経験できました。学ばせていただいたことを来月からの研修に活かせるようにしたいと思います。ありがとうございました。

教育委員会から

新入職員研修会を開催しました

日時:2020年7月3日(金)、10日(金)



原診療部長が診療部の紹介を行っています



研修修了後、新入職員と教育委員会メンバーで記念撮影をしました

毎年恒例の新入職員研修会を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の一環で、参加者を2日に分けて開催し、また、プログラムも時短バージョンで行いました。

新入職員同士の自己紹介や、理事長、院長からのメッセージをはじめ、病院各部門、各事業所の紹介などが続きました。

参加した新入職員からは、「院長のメッセージが心に響きました」「職員の心得10句を心得ます!」「各部署の業務内容が知れて良かった」などの感想や、「コロナが落ち着いたら是非親睦会をして欲しいです」などの希望が研修後のアンケートに書かれてありました。また、新入職員ならではの視点で、業務改善の提案などもあり、早速取り組んでいきたいと思っています。

『福山医学』に症例報告が掲載されました

リハビリテーション科 理学療法士 黒田 知之

筋萎縮性側索硬化症患者への視線入力可能な意思伝達装置の導入について ～重度障害者用意思伝達装置マイトビーI-15の使用経験と導入条件の考察～

「第25回 福山医学祭」で発表した演題を基に、この度「福山医学 第26・27・28合併号」へ症例報告を投稿し掲載されました。筋萎縮性側索硬化症(ALS)とは全身の筋肉が徐々に萎縮し、主に歩行障害や構音障害、嚥下障害を呈します。構音障害により発声によるコミュニケーションが取りにくくなるため、ALS発症後のコミュニケーション方法の確立は非常に重要であると言われています。コミュニケーション機器には視線を利用するタイプやスイッチを押すタイプなど様々な機種が開発されており、患者のニーズや身体機能に合わせて機器を選択することが可能です。今回の症例報告では視線を利用するタイプの機器を使用しました。機器の調整には大変苦労しましたが、これらの症例を通して各職種の役割や機器の特徴を深く知ることができました。今回の経験を活かし、今後も適切にコミュニケーション機器が導入できるように支援していきたいと思っております。



※構音障害…発音が正しくできない症状

在宅事業部だより

訪問看護ステーションこばたけ ② (全4回)

呼吸リハビリテーションとは？

訪問看護ステーション 理学療法士 早川 尚宏

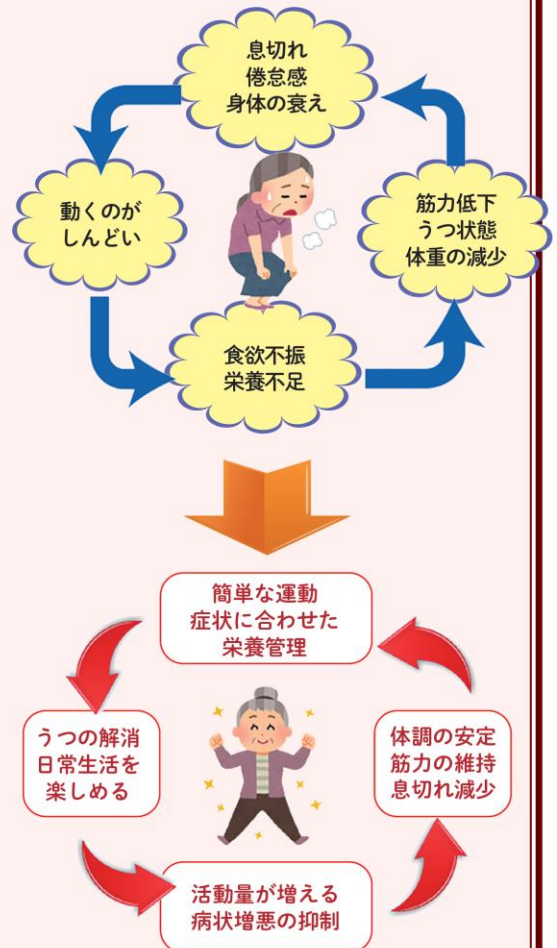
呼吸リハビリテーション(以下、呼吸リハ)はあまりなじみのない分野かもしれません。今回は呼吸リハについて簡単に説明させていただきたいと思います。

気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、肺がん、呼吸器感染症は、呼吸器の4大疾患です。タバコの煙を初めとする有害物質の長期吸入や免疫異常により呼吸器疾患になりやすいです。呼吸器疾患では呼吸がしにくくなったり、呼吸機能が低下したりします。そのために『安静→全身の筋力低下→動くのがしんどい→安静→…』と悪循環を繰り返すことが多いです。呼吸リハとはそういった患者さんに対して、

可能な限り機能を回復、維持することによって、症状を改善し、患者さん自身が自立した日常や社会生活を送れるように継続的に支援する医療です。

チーム医療により呼吸器の障害で悩まれている患者さんのADL(日常生活活動)やQOL(生活の質)の維持・向上を目指しています。ご自身が無理なく動ける範囲で身体を動かし、良い循環に変えていくことが大切です。そのために今後のやりたいことや生活背景を伺う中で一緒に目標を設定し、適切な運動プログラムを立て正しい生活管理が行えるお手伝いをさせていただきます。

次号では神経難病の方への呼吸リハについて掲載させていただきます。



栄養科 だより

vol.14



(11月11日昼食の予定です)

今月の行事食

チキンソテー・ママレードソース

チキンソテーをメインとしたランチです。ソースにはママレードジャムを加え甘味とほろ苦さを味わえます。

今月のイッピン! クラムチャウダー

あさりと野菜の入ったクリームスープです。これからの寒い季節におすすめの、体が温まる一品。



(11月2日昼食の予定です)

今月の
ちょっとひとこと

食後の血糖値の上昇をゆるやかにする
食べ方とは?

糖尿病の人や糖尿病予備軍の人は、食後の血糖値がなかなか低下せず高血糖の状態が続いてしまい、動脈硬化や糖尿病合併症などの病気が起こりやすくなります。食事の食べ方を少し変えるだけで、食後の血糖値上昇をゆるやかにすることができます。ポイントは、よく噛んでゆっくり食べる・野菜やきのこ・海藻類から食べ始める・1日3食食べる(量も均等に)です。



栄養科だよりは毎月発行しています。
院内の掲示やホームページでもご覧いただけます。

ホームページ

<https://kobatake.or.jp>



編集後記

今号で紹介の通り、例年では5月に行う新入職員研修会ですが、新型コロナウイルスの影響で、7月に行いました(5ページ参照)。医療業界では様々な年代の同期ができます。高校卒業後、間もない人からウン十代まで。これからも同じ志を持つ、幅広い年代の仲間が集まれるよう病院を盛り上げていきます。(バタバタ)

●外来診療担当表

2020年11月1日現在

科目	曜日	月			火			水			木			金			土		
		午前	午後	夕診	午前	午後	夕診	午前	午後	夕診	午前	午後	夕診	午前	午後	夕診	午前	午後	夕診
内科	1診	理事長※1 上村※2		理事長※1 上村※2	下地 (呼)		下地※3 (呼)	土井 (糖)		理事長	理事長		下地 (呼)	竹林 (神)		竹林 (神)	理事長		楠/石井 /藤田 (消)
	2診	土井 (糖)			原		原	横濱 (循)		横濱※5 (循)	原		瀧川英 (消)	磯辺※4 (糖)	磯辺※4 (糖)	瀧川英 (消)※7	原		原
	3診	院長		院長	和又※4 (糖)		和又※4 (糖)	院長	院長	下地 (呼)			院長				吉田(循) (第1・3)		
外科	5診	和久		和久	和久		和久	和久	和久	中井			※6	和久		※6	中井		中井
内視鏡診察室(予約)		原	原		佐伯	佐伯				瀧川英	瀧川英		瀧川英	瀧川英			楠/石井/藤田		
泌尿器科	1診	大口		大口	大口		大口		大口				宮本				大口		
	2診	宮本			宮本		宮本		宮本	後藤			後藤	中野		中野	宮本		
眼科					瀧川		瀧川	瀧川	瀧川	瀧川			瀧川	瀧川		瀧川	瀧川		瀧川

診療科目:内科・外科・泌尿器科・眼科・脳神経内科・消化器内科・循環器内科・リハビリテーション科 予約制による内視鏡他の検査外来/月・火・木・金・土

●外来担当医

内科・脳神経内科	小島 敬太郎(理事長)	内科・消化器内科	石井 学	内科・呼吸器内科	下地 清史	泌尿器科	大口 泰助(副院長・部長)
内科・脳神経内科	上村 鉄兵	内科・消化器内科	藤田 穰	内科・糖尿病内科	磯辺 隼人	泌尿器科	宮本 克利
内科・脳神経内科	竹林 佳子	内科・消化器内科	佐伯 翔	内科・糖尿病内科	和又 諒	泌尿器科	後藤 景介
内科・消化器内科	原 睦展(診療部長)	内科・循環器内科	小島 廉平(院長)	内科・糖尿病内科	土井 綾乃	泌尿器科	中野 芳紀
内科・消化器内科	瀧川 英彦	内科・循環器内科	横濱 ふみ	外科・総合診療科	和久 利彦(部長)	眼科	瀧川 泰(部長)
内科・消化器内科	楠 裕明	内科・循環器内科	吉田 賢司	外科・総合診療科	中井 肇		

- ※1 第2・4月曜日の診察
- ※2 第1・3・5月曜日の診察
- ※3 15:30~16:45までの診察
- ※4 9:00~15:00までの診察
- ※5 15:30~16:30までの診察
- ※6 手術がない場合は、外科・総合診療科で受付できることがありますのでお問い合わせください。
- ※7 15:00~16:45までの診察

8) ※8

【内科】

午前/初診 11:00まで
再診(予約なし) 11:30まで
午後/初診 17:00まで
再診 17:30まで

※予約の方は予約時間に従い、受付をお願いします。
なお、予約の方および急患の方はこの限りではありません。

【内科以外の診療科】

午前/初診・再診(予約なし) 11:30まで
午後/初診・再診 17:30まで

※予約の方は予約時間に従い、受付をお願いします。
※外科・泌尿器科は手術の都合で外来診療受付時間
が変更になることがあります。

- 学会などへ出席のため、休診または担当医が変更になることがあります。
- 診療予約変更は午後から電話等でご連絡ください。

当院は主として
次の疾患を専門としています

内科

神経系の病気(脳神経内科)、循環器系の病気、消化器系の病気を中心に糖尿病内科、呼吸器内科は専門外来を行っています。

外科

一般的な外科の初期治療、腹部疾患の総合的診療、甲状腺疾患

泌尿器科

尿路性器悪性腫瘍、尿失禁や排尿障害、尿路結石

眼科

白内障、緑内障、眼底疾患、コンタクトレンズ

リハビリテーション科

脳血管障害、神経及び筋疾患、骨関節疾患などのリハビリテーション

担当医については電話または受付でお尋ねください。

■受付時間/ ● 8:15 ~ 17:30 ※8

■診療時間/ ● 9:00 ~ 12:00(全科)
● 15:00 ~ 18:00(眼科)
● 16:30 ~ 18:00(その他の診療科)

■休診日/ ● 日曜日・祝日(全科)
● 火・土曜日午後(泌尿器科)
● 月曜日(眼科)

■面会時間/ ● 平日/1:00~19:00
● 日・祝日/10:00~19:00

当院では人間ドックも行っています

● 毎年の誕生日健診をおすすめします ●

- 日帰りドック(火・木・金・土)
- 一泊ドック(月・火)または(水・木)または(金・土)
など気軽にご相談ください

こばたけ びょういん

医療法人
(社)玄同会 **小島病院**

〒720-1142 広島県福山市駅家町上山守203
TEL (084) 976-1351(代) FAX (084) 976-6309
<https://kobatake.or.jp>

